

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 2022年度診療報酬改定に対応した入退院支援の実態調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 小野五月（看護部・看護師）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

目的：入院早期に退院困難要因を有する患者様を抽出することは、患者様と御家族の住み慣れた在宅での療養継続に向けた支援を早期に開始するうえで重要です。

本研究の目的は、2022年度診療報酬改定に対応した入退院支援の現状を把握することです。退院困難要因を有する患者様の現状を明らかにすることで、入退院支援の早期開始、患者様の意向に添った療養支援について多職種での検討が可能となります。

方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究

本研究の研究期間は倫理委員会承認後～2023年12月31日です。

■ 対象となる患者さん

2022年4月～2023年3月に当院に入院され、看護師が『退院総合評価』を実施した方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：本研究では、対象となる患者様の電子カルテの中から、年齢、性別、入院形態（緊急入院、予定入院）、悪性腫瘍・誤嚥性肺炎等の呼吸器疾患・低栄養状態などの退院困難要因の有無に関するデータを使用します。

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

小野五月 看護部（看護相談室）

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971